



守口ロータリークラブ 週報 No.19



ロータリー財団月間



本日のピアノ演奏

- 1、愛の夢 2、白い恋人たち 3、津軽海峡冬景色

表彰状

本日例会 2011年12月07日
(第2466回)

「フォーラム」
神田 隆司会員
担当：新世代・ローターアクト委員会

次回例会 2011年12月14日
(第2467回)

「委員会中間報告」
担当：会長・幹事委員会

出席報告			
例会日	出席	欠席	出席率
11月30日	31	10	75.61%【会員44名】【内免除者3名】
11月09日	32		メイクアップ5名 (74.42%)

前回例会（2465回）11/30の主な内容

◎ゲスト紹介

米山奨学生
(米山奨学金贈呈)
金 昊奂様

◎幹事報告 (川村幹事)

- 1、地区大会は移動例会とさせていただきます。ご出席有難うございました。地区大会に於きまして守口RCは、R.I会長賞と、会員増強・拡大賞を授与致しました。
- 2、2011～12年度 I.Mのご案内
ホストクラブ：四條畷ロータリークラブ
日時：2012年1月28日(土)9：30～開会
場所：四條畷市民総合センター
出欠を事務局迄お願いします。
- 3、元RC会員螺良愛郎様より講座のご案内
日時：2011年12月3日(土)
場所：関西医科大学滝井病院
本館6F講堂

◇◇◇委員会報告◇◇◇



社会奉仕委員会 (松尾委員長)

・薬物乱用防止教室のご案内

○日時：12月8日(木)

5・6時限目 13：15～14:55

場所：守口市立 庭窪中学校

5時限目 各教室、6時限目 体育館

対象：一年生 6クラス

○日時：12月16日(金)

3・4時限目 10：45～12：30

場所：守口市立 第一中学校 体育館

対象：一年生

○日時：1月16日(月)

5・6時限目 13：35～14:35

場所：守口市立 八雲中学校 体育館

対象：全学年

○日時：1月20日(金) 5・6時限目

場所：守口市立 第三中学校

対象：一年生～三年生 各2クラス

薬物 全学年 ※その他詳細は検討中。

■ 会長：石橋 高夫
■ 幹事：川村 弘和
■ 広報雑誌・会報委員長：他谷 勝
URL：http://www.moriguchi-rc.jp/

■ 例会場：守口ロイヤルパインズホテル 守口市河原町10-5
TEL (06) 6994-1111 (代表) 〒570-0038
■ 事務所：守口市河原町10-5 守口ロイヤルパインズ5F 〒570-0038
TEL (06) 6994-0010 FAX (06) 6994-0009
■ メールアドレス：info@moriguchi-rc.jp
■ 例会日：毎週水曜日 12時30分～13時30分

◎会長の時間

会長 石橋 高夫

先の11月11・12日の地区大会には、多数ご参加いただきありがとうございました。ご出席いただいた方は27名で出席率72.97%でした。

第1日目は開会式に引続き、先般ご紹介いたしました、深川純一2680地区パストガバナーの「ロータリーの原点」と題する講演がありました。ロータリー精神及び哲学が、発足後試行錯誤を経て徐々に確立されていった過程、そして、一業種一人と例会出席義務の必然性、現在この原則が制度的に緩和されたとはいえ、その精神をなくせばロータリーの危機であるとまで言及されたと感じました。

その後、米山と新入会員研修との2つの分科会に分かれました。晩餐会には4名出席いたしました。

2日目の本会議は例年通りの進行でしたが、特に東日本大震災の地区支援活動の取組がビデオで紹介され、今後の最重点課題であると強調されておりました。中西輝政氏の記念講演のあと表彰があり、当クラブはR I会長賞並びに会員増強・拡大賞の栄に浴しました。クラブを代表して壇上で賞状を受け、感動いたしました。

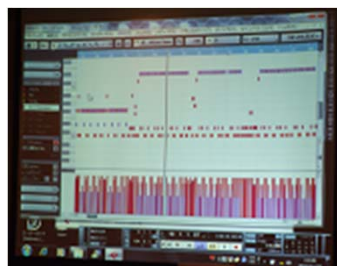
閉会の6時過ぎまで、多くの会員が残っていただきましたこと、感謝申し上げます。

フィリピンにおける当クラブM.S.S.事業奨学生の子供達からのクリスマスカードです。



卓 話

「デスクトップミュージック
(DTM) について」
米山奨学生 金 呉 奂 様



～ (本文は次ページに) ～

◇◇◇委員会報告◇◇◇

親睦活動委員会 (田坂委員長)
クリスマス家族親睦会のご案内



○日 時：12月17日 (土) 18:00～
場 所：守口ロイヤルパインズホテル 2 F
参加費：会員15,000円・家族8,000円
【協賛金をお願いいたします】

ニコニコBOX S・A・A

石井 会員 米山奨学生、金呉奂君の卓話担当を喜んで。
石橋 会員 地区大会、多数のご出席感謝して。
中島 会員 守口市文化協会より50周年記念で表彰をしていただきました。

11/30 結婚・誕生ニコニコBOX 599,000円

四つのテスト

●言行はこれに照らしてから ①真実かどうか ②みんなに公平か ③好意と友情を深めるか ④みんなのためになるかどうか

(～卓話 本文～)

この言葉が使われ始めた1990年代前半当時狭義のDTMはパソコンの使用を前提とし、かつ日常的な環境においてある程度限定された規模での音楽制作を指す場合が多いです。

ローランドのSCシリーズ等を始めとする音源モジュールをパソコンと接続し、その音源モジュール1台にボーカル以外のすべての演奏を任せるといったシステムがDTMの一般的な形です。

通常の楽器演奏と比較した上でのDTMの長所・短所として以下の点が挙げられます。

長所

- * 楽器が弾けなくても、パソコンの画面上の譜面に音符や休符を置いていけば、演奏可能です。
- * 楽器が弾ける人でも、自分のパート以外をパソコンに演奏させて、マイナスイン演奏（楽器版カラオケ）が楽しめること。それに関連して、特定のパートの楽器奏者が身近にいない場合、その代用として使えます。
- * 自分の演奏をパソコンに記録し、記録したデータを容易に修正することが可能です。
- * インターネットを利用して演奏データを取りとりすれば、場所や時間を越えた共同作業も可能です。
- * 一般的な「楽器」という定義にとらわれない音を生み出すことも可能です。

短所

- * 音源により差はあるが、楽器の響きをコンピュータで出すので、実際の楽器の音を完全には再現できません。
- * 通常の楽器演奏の臨場感を再現するのは難しいです。

DTMに必要なもの

* パソコンとシーケンサーソフト

パソコンを中心とするため、パソコンとシーケンサーソフトは必須であります。Windows・MacintoshのどちらでもDTMは可能だが、シーケンサーソフトの中には片方のOSでしか動作

しないソフトもあります。ソフトウェア音源の利用やパソコン上での音声データの編集等高速な処理を要する作業を行うのであれば高スペックのパソコンが必要となるが、そのような作業を行わないならば、対応OS等の条件を満たす限り1990年代のパソコンでも十分利用可能です。

* 音源モジュール
もしくはソフトウェア音源

2000年代前半頃までは、パソコンでの処理速度や操作性を考慮すると音源モジュールは必須であると考えられていたが、現在ではパソコンの性能向上に伴い、ソフトウェア音源のみで処理することもできるようになっています。新たにDTMを始める際に音源モジュールを選択する場合、音源モジュールは複数の音色を同時に再生可能なマルチティンバーのもので、一般的な楽器音が揃っているタイプが望ましいです。条件に当てはまる音源として後述のGM対応の音源モジュールが挙げられます。

* スピーカーまたはヘッドフォン

音源モジュールにはスピーカーがついておらず、音を出すために別途スピーカーまたはヘッドフォンが必要です。

* MIDIキーボード

マウス等の入力装置でプログラミング(入力)することも出来るので、リアルタイムレコーディングを望まないのならば必ずしも用意すべきというものではないです。

* MIDIインターフェイス

一昔前のDTM音源モジュールはシリアル端子がついており、パソコンのシリアル端子とケーブルを接続するだけで利用可能です。昨今のパソコンにはシリアル端子がついていないものが多く、旧来の音源モジュールを使う場合はUSB-MIDIコンバーター等MIDIインターフェイスが必要となります。ただし最新の音源モジュール・MIDIキーボードもUSBに対応する製品が増えてきたため、新たに購入する際はインターフェイスは不要となることもあります。